

3. 意見の内容と市の考え方

番号	5	事業名	故郷（ふるさと）ふれあい交流事業	担当課	農政課	
重点施策の分類	交流人口の創出			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				2,392	1,389	13
事業内容	<p>佐久市の豊かな自然環境や農業、林業などの地域資源を活かした体験型交流を通じて、都市部住民と佐久市民の交流を行うものです。</p> <p>市内で体験型交流を受け入れていただける地域体験型交流支援団体や関係機関と連携し、この取り組みの普及や啓発、情報発信等の活動を行い、体験交流による地域経済の活性化や観光客の増加および定住化の促進を図るものです。</p> <p>この体験型交流を3年以上にわたり、受け入れる地域の支援団体に対し、体験交流事業の支援金として、1回に限り、20万円を交付します。</p>					
いただいたご意見の要旨				担当課の回答		
<p>(1) 都会の若者が佐久市に職業として収入が得られる生活の地として定住ができ、さらに観光地の地として訪れる街づくり構想（提案）により、農をベースに、商、観光がこれからの市の発展に繋がると思います。</p> <p>(2) 佐久市に国際大会、全国大会などを誘致し、年間多数の方に実際に訪れ五感で知っていただくことが大切。実体験が不可欠では。（シンポジウムチラシ添付）</p> <p>(3) 観音峯活性化センターを中心とした体験研修により地域経済が発展することを望んでいる。推進委員会の設置なども欲しい。</p> <p>(4) 耕作放棄地や小規模山間農地を市内や都市部の希望者に貸し出す事業を進めたらいかがでしょうか。住みたい人が出てくると思います。</p> <p>(5) 里山や田園風景や河川を結ぶ道路を活かしてサイクリングコースやウォーキングコースなどをつなげて、佐久の物産の紹介も兼ねて、ウォーキング大会やサイクリング大会が行われたら、国内大会等ができどこにも負けないコースができると思います。</p> <p>(6) 小学生に佐久市の名所、名跡や故郷の良さを知ってもらうためにも充実した対応をお願いしたい。巡回バスを活用してみるのはいかがでしょうか。</p>				<p>(1) 観光ビジョンの策定に合わせ、関係機関と連携してまいります。</p> <p>(2) 関係機関と連携し各種イベントの受入れについても考えてまいります。交流人口創出について、シンポジウムの開催を考えており、内容については、今後検討してまいります。</p> <p>(3) 体験メニューの内容により、観音峯活性化センターを活用することは可能であり、できます。研修・交流場所の一つとして考えています。また、体験交流を地域に広げるため推進協議会（仮称）の設置を考えております。</p> <p>(4) 市の空き家バンク同様に、農地バンク事業につきましても検討を進めております。</p> <p>(5) 国内の各種大会が、行われればより交流人口の創出を図ることができます。交流人口創出の関係機関と連携を図る中で、参考にさせていただきます。</p> <p>(6) 巡回バスの活用について参考にさせていただきます。</p>		

番 号	5	事業名	故郷（ふるさと）ふれあい交流事業	担当課	農政課	
重点施策の分類	交流人口の創出			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				2,392	1,389	13
事業内容	<p>佐久市の豊かな自然環境や農業、林業などの地域資源を活かした体験型交流を通じて、都市部住民と佐久市民の交流を行うものです。</p> <p>市内で体験型交流を受け入れていただける地域体験型交流支援団体や関係機関と連携し、この取り組みの普及や啓発、情報発信等の活動を行い、体験交流による地域経済の活性化や観光客の増加および定住化の促進を図るものです。</p> <p>この体験型交流を3年以上にわたり、受け入れる地域の支援団体に対し、体験交流事業の支援金として、1回に限り、20万円を交付します。</p>					
いただいたご意見の要旨				担当課の回答		
<p>(7)この事業により地域経済の活性化や定住化の促進になるとは思えない。無駄な事業である。</p> <p>(8)非常に良い試みである。交流支援団体の募集が重要なポイントになる。市内各地で取り組んでいただきたい。空家バンク同様、農地バンク事業等を創出し発展させたらどうか。</p> <p>(9)都市部住民との交流を行い観光客の増加及び定住化を図るには、受け皿となる場が必要であり、クラインガルテンを積極的に建設してほしい。</p> <p>(10)支援金20万円交付は賛成です。ただし、「3年以上」は実績が、計画が不詳ですが、どう担保するか奨励との兼ね合いが生じます。</p> <p>(11)重点施策として、本事業を積極的に推進し実施することに賛意を示します。</p> <p>(12)補助金を「交流人口の創出」の唯一の手段と考えるのは問題。「やりましょう」のきっかけをつくり、「やりたいな」の芽を発芽させるのが重要。HPの作成、チラシ発行などスムーズに実行できるシステム構築に予算を使うのが適当。</p>				<p>(7)都市部住民の方と地域の方々が体験メニューを通じてふれあい、観光や宿泊をセットにすることにより、経済の発展や地域の活性化、高齢者の皆さんの生き甲斐づくりや、地域の産業として根付くことにより、佐久市の活性化を図ることができるものと考えております。体験交流事業に協力していただける地域の支援団体や関係機関と連携し、広く事業の普及や啓発、情報発信等を行い、体験交流事業による地域経済の活性化や観光客の増加、及び定住化の促進を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>(8)市の空き家バンク同様に、農地バンク事業につきましても検討を進めております。</p> <p>(9)「佐久クライガルテン望月」が開園し1年経過することから、使用者の皆さんから意見を聞き、交流状況や、市内での投資状況など総体的に検証する中で、地域の活性化となる事業か、見極めることが必要と考えております。</p> <p>(10)推進協議会（仮称）に登録していただき、体験交流事業の推進にご協力をいただきたいと考えております。</p> <p>(11)22年度は試行的に行い、検証する中で今後の取組みを進めてまいります。</p> <p>(12)交付金は、「やりたいな」「やります」と体験交流の受け皿となる団体の準備金として考えております。今後、HPの作成や募集方法について検討してまいります。</p>		

番 号	5	事業名	故郷（ふるさと）ふれあい交流事業	担当課	農政課	
重点施策の分類	交流人口の創出			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				2,392	1,389	13
事業内容	<p>佐久市の豊かな自然環境や農業、林業などの地域資源を活かした体験型交流を通じて、都市部住民と佐久市民の交流を行うものです。</p> <p>市内で体験型交流を受け入れていただける地域体験型交流支援団体や関係機関と連携し、この取り組みの普及や啓発、情報発信等の活動を行い、体験交流による地域経済の活性化や観光客の増加および定住化の促進を図るものです。</p> <p>この体験型交流を3年以上にわたり、受け入れる地域の支援団体に対し、体験交流事業の支援金として、1回に限り、20万円を交付します。</p>					
いただいたご意見の要旨			担 当 課 の 回 答			
(13)案内人の育成やルート選定、またオプション（体験型や歴史講座）の創設等の研究を重ね参加者と地域の交流が協同事業として愛着を持ち「人のふれあいまちづくり」が展開されます。			(13)体験型メニューに、観光や宿泊を組み合わせたいと考えております。佐久市をより多く知っていただける方法を検討してまいります。その際、参考にさせていただきます。			